

奨励品種を活用して自給飼料を増産！

～イタリアンライグラスの栽培調査を行っています～



奨励品種について

畜産センターでは、飼料作物の市販品種(又は市販予定品種)の中で、茨城県の気候や環境に適した品種を奨励品種(※)として選定するため、飼料用トウモロコシとイタリアンライグラスについて、1品種につき3年間の栽培調査を行っています。

今回は、令和7年時点でのイタリアンライグラスの調査結果及び令和5年3月に改訂したイタリアンライグラス奨励品種について紹介します。

※ 各都道府県で、優良な品種として選定したもの。

栽培概要及び収量調査概要

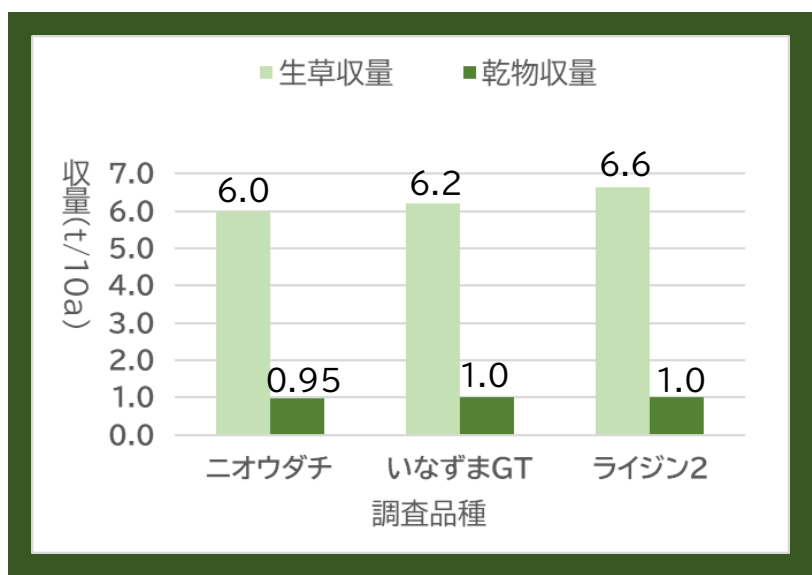
播種時期:令和6年11月1日(条播)

収穫時期:1番草 令和7年4月16日

2番草 令和7年5月9日

収穫時期:出穂期(出穂が全体の50%みられた日)

図 1番草+2番草の収量(3年間の平均)



令和7年で早生の3品種(ニオウダチ、いなずまGT、ライジン2)、3年間の調査が終了しました。3年間を通じて、収穫時に影響があるほどの倒伏や病虫害の被害は見られませんでした。草丈は、3品種とも1番草で約100cm、2番草で約50cmとなりました。

収量は、3品種とも生草収量で6～6.6t/10a、乾物収量で約1t/10aという結果になりました(図)。



イタリアンライグラスは秋播き利用の場合、日平均気温が20℃以下となる時期に播種を実施しましょう。播種が遅くなってしまう場合は、耐病性品種や播種時期による収穫変動の少ない品種を使うなどの対応が必要となります。

過去3年間の気象庁過去データによる県内各地域の日平均気温では、10月中旬～11月上旬の気温が播種適期となっています。気温が低い時期の播種になると、定着が悪くなってしまうため適期播種を推奨します。

また、近年温暖化の影響により刈取時期(出穂)が例年よりも早まっている傾向があるため、早めの刈取を意識しましょう。

表 近年の県内各地域の平均気温

月	旬	【参考】 平成25～27年 水戸	令和5～7年日平均気温(℃)				
			県北 (常陸大宮)	県央 (水戸)	鹿行 (鉾田)	県南 (龍ヶ崎)	県西 (古河)
9	中	21.5	25.5	26.8	26.7	27.0	27.4
	下	19.9	21.3	22.6	22.7	22.8	23.4
10	上	19.5	19.0	20.3	19.9	20.1	20.0
	中	16.9	16.7	18.2	18.1	18.2	18.8
11	下	15.2	14.1	15.7	15.6	15.6	15.9
	上	14.0	12.7	14.3	15.1	14.2	15.3
11	中	10.9	9.7	11.4	10.9	11.1	11.8

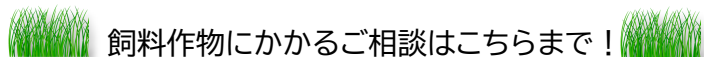
※気象庁過去データより抜粋

茨城県 イタリアンライグラス奨励品種一覧(令和5年3月改正)

イタリアンライグラスにおける奨励品種一覧は以下のとおりです。

品種名	育成地 導入先	早晩性	出穂期	草型	耐倒伏性	耐病性	収量(t/10a)		刈取回数
							生草	乾物	
タチワセ	雪印	早生	4月上旬	直立	中	弱	6.0	0.9	1～2
KAIR-E1803	全酪連	早生	4月上旬	直立	強	—	5.3	0.9	1～2
タチユウカ	農研機構 雪印	早生	4月上旬	直立	強	弱	5.3	1.0	1～2
タチムシャ	雪印	中早生	4月中旬	直立	強	弱	6.5	1.0	1～2
ナガハヒカリ	農研機構	中生	4月下旬	直立	強	—	7.2	1.2	1～2
ビリケン	雪印	中晩生	4月下旬	やや直立	強	強	6.6	1.0	1～2
エース	雪印	晩生	5月下旬	ほふく	中	強	14.0	2.1	3～5

※販売終了品種については記載していません。



飼料作物にかかるご相談はこちらまで！